

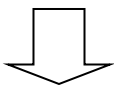
新 粳米配合飼料による鶏卵生産技術の確立(平成24~25年度)

県産飼料米で
安全安心な鶏卵生産



現状

○トウモロコシ等の穀物飼料の価格高騰



○鶏の餌に飼料米をたくさん与えると栄養のバランスが崩れて産卵数が少なくなる。

○安い粳米を他の飼料と組み合わせることで産卵数を減らさないようにできないか？

研究内容

飼料米に、タンパク質が高い飼料を併せて食べさせることで、産卵数に影響のない飼料の与え方を検討する

〈検討項目〉



1 食べ方への影響

- ・採食量(食べる量)
- ・消化性(便の量、性状)

2 産卵への影響

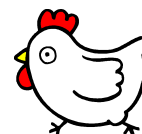
- ・産卵量(個数、重量)
- ・卵質(色、殻の堅さ)
- ・食味(卵の黄身のおいしさ)
- ・経済性(経営試算)

3 生理的な影響

- ・健康状態(体重、血液)

研究目標

- 粳米をたくさん給与しても卵の生産量を維持
- 飼料コストの低減(5%)



期待される効果

- エサ代が安くなり養鶏農家の経営安定
- 県産飼料米の利用で安全安心な鶏卵の提供